

“富里市創業・事業承継応援補助金”を 活用して創業された事業者紹介します

商工観光課 ☎ (93) 4942



市では、令和5年度から産業の振興と活性化を図ることを目的に、市内で創業及び事業承継を行う人を対象として、補助金を交付しています。この補助金を利用して創業された「指定訪問介護ステーション Abeloo (アベロ)」の横尾さんご夫婦を紹介します。

屋号の由来

Abelo (アベロ) とは、「ミツバチ」を示します。ミツバチは助け合いながら、暮らしを整え、花から花へ花粉を届け命を繋ぎます。地域の中で、それぞれの命を咲かせられるような存在でありたいという願いがこめられています。

横尾 征一郎 さん … (征)、横尾 頼子 さん … (頼)

事業内容について教えてください

(頼) 「指定訪問介護ステーション Abeloo (アベロ)」では、在宅での訪問介護を中心として、保険適用から適用外のものまで幅広く対応しています。介護保険制度の仕組みでは、サービス内容や回数が限られているので、それを補うために保険外のサービスにも対応しています。また、看護の資格を持っているので「介護＋看護」のサービスも提供していることが大きな特徴です。

事業を営む上でのご担忧・知ってほしいことはありますか？

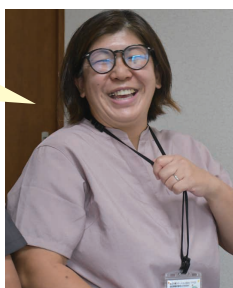
(征) 「今よりもっと良くしたい」という思いで、現状よりも一段・二段先のサービスを提供することをイメージしています。また、利用者・介護者どちらかが強い立場という訳ではなく、対等な立場で利用者に接することを大切にしています。需要と供給が偏ってしまうことなく、お互いに遠慮なく何でも言い合える関係性を目指しています。

(右) 横尾 頼子 さん

高知県出身。大学卒業後、病院、施設、訪問看護を経験。大学病院での勤務中に「がん看護」に関する専門性が必要と感じ、大学院で学び直し、県内でも数少ない「がん看護専門看護師」の資格を取得。

(左) 横尾 征一郎 さん

富里市出身。学業修了後、法人での勤務を経て、令和5年12月に合同会社 Terra Incognita を創業。



(頼) 働きやすい環境づくりも大切にしています。現在、代表と私、常勤の人1人、パートさん2人の計5人で運営していますが、スタッフみんなが同じ思いで動けるように、活発に意見交換をし、利用者について丁寧に情報共有しています。また、一人ひとりの好みに合った「オーダーメイド」なサービス提供を心掛けています。例えば、髪を洗うにも、どれくらいの強さで洗ってもらうのが好きなのか、と考えたり、ペットボトルのふたもヘルパーが全部開けてしまうのではなく、途中まで開けて、最後は本人にやってもらうなど、自立してもらうことも大事にしています。

訪問介護の仕事について教えてください

(頼) 「介護」と聞くと暗いイメージを持たれる方が多いですが、私たちは介護を暗いものではなく、明るいものとして捉えて欲しいです。訪問介護のサービスは、悪くなってから使うというよりも、少し早めに利用することで、今までの生活を維持することにつながります。サービスを受けたら「かわいそう」とは捉えず、受けることによって生活が良くなる・暮らしを続けるために使う前向きなサービスとして捉えて欲しいです。ヘルパーは「明るく伴走してくれる人」と見てもらえると嬉しいです。実際、ヘルパーさんは明るい人が多いですよ。

市や商工会からの支援(セミナーや補助金)を使ってみた感想を教えてください

(征) セミナーでは、経営する上で役立つ知識を学ぶことができました。特に、公的データの分析方法や資金繰りについて知ることができて良かったです。また、セミナーを受けたことで、特定創業支援等事業を修了した「証明書」が市から発行されるのですが、それを使うことによって特別な条件で融資を受けられるので、それを活用しました。また、市の補助金があったことも、富里で創業する後押しにもなりました。

(頼) 夫がセミナーに参加していたのですが、参加者の中でいろいろと情報交換するなど、業種は異なっても、参加者はやる気にあふれた人ばかりだったので、とても励みになりました。また、補助金を使ったことによって、市の職員にいろいろと相談しやすくなりました。上手くいったときはあまり考えないですけど、何かと上手くいかなかったときに、市からの支援を受けたことで、踏み張るきっかけにもなりました。

補助金のメリット・デメリット、今後期待したいことはありますか？

(征) 国の補助金に比べると手続きが煩雑ではなく、申請から交付決定まで時間があまりかからなかったのが助かりました。また、書類を準備するにも商工会の人が間に入ってくださったので、申請もしやすく大きな負担になりませんでした。デメリットをあげるのであれば、申請した年度内に創業～実績報告となるので、スケジュールがかなりタイトでした。セミナーを11月の中旬に修了して、それから補助金の申請、県への許可の手続きなどもあったので忙しかったです。

今後期待したいことは、これから取り組む事業によっては、補助額の上限を上げるなどがあるといいのかなと思います。せっかく、富里で創業したので、継続的に応援してもらえるといいですね。また、申請した年度内ではなく、創業に当たって長く時間がかかる場合もあるので、実績報告の時期についてもう少し融通が利くとうれしいです。



富里市創業・事業承継応援補助金 制度

市の産業の復興及び活性化を図るため、市内ではじめて創業及び事業承継を行う人に対して、補助金を交付します。

■補助額

一事業者当たり、上限 50 万円 (対象経費の 2 分の 1 以内)

※補助金の交付決定前に発生した経費については対象となりません。

■申請の方法

補助金の交付を受ける人は、富里市創業・事業承継応援事業計画書に書類を添付して、商工観光課へ申請をしてください。

添付する資料など、詳しくは市公式ホームページをご覧ください。



Q どうして富里で開業しようと思ったのですか？

(征) 仕事をしていく中で、場所を選ばずチャレンジできる世の中になり、自分の出身地である富里で起業しようと思いました。社会的課題が多いことはチャレンジでもあります、前向きに取り組んでいきたいと考えています。



(頼) 自分の住むまち、自分たちがお世話になるようなまちが元氣になって欲しいと思い、開業しよう決めました。

Q これから創業を目指す人へメッセージをお願いします

(征) 走り出してみないと見えないものがあります。走り始める前に、いくら色々調べたり考えたりしても、走らないと見えてこないことがあります。とにかく走り出すことが大事だと思います。

(頼) 事業を始めるといういろいろあると思います。私たちは、今年の6月を「魔の6月」と呼んでいて、ヘルパーの依頼が全然ない状況がありました。困難なことがあっても、それを乗り越えれば会社として強くなる。創業しているからこそできる経験であって、勤めていた病院では、わからないことだと思います。難しい状況にいたときこそ、自分たちの決意が試される状況にあるのだと。何事も前向きに乗り越えて行ってほしいです。



他にも

富里市創業・事業者承継応援補助金を
活用して創業された事業者の人々がいます！

創業した感想など、市公式ホームページで
紹介しているのでご覧ください。

